# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

**東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。**

**本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **【研究課題名】** | HRCT で NSIP パターンを示す間質性肺炎の疾患群に関する後ろ向き観察研究 | | |
| 1.研究の目的と方法 | 目的：胸部高分解能 CT(high-resolution CT; HRCT)で認めた非特異性間質性肺炎(non-specific interstitial pneumonia; NSIP)パターンを呈した間質性肺炎の疾患群の特徴を理解することです。<br>方法：多施設共同研究で行う後ろ向き観察研究で、胸部高分解能 CT で認めた NSIP パターンの症例の病理所見と診断名の比較を行います。 | | |
| 2.研究期間 | 倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。 | | |
| 3.対象となる方等 | NSIP パターンの間質性肺炎を合併した患者さんで、2007 年 1 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の間に公立陶生病院にて診断、検査、治療を受けた 18 歳以上の方になります。<br>東京慈恵会医科大学附属病院の患者さんはこの研究の対象ではございません。 | | |
| 4.研究に利用する試料・情報について | (1)試料の種類 | 試料は使用しないため、該当しません。 | |
| | (2)試料の取得の方法 | 試料は使用しないため、該当しません。 | |
| | (3)情報の種類 | 診断名、性別、年齢、CT 画像と外科的肺生検で得られた病理像を含む検査結果になります。 | |
| | (4)情報の取得の方法 | 公立陶生病院で取得した CT 画像と病理像を収集します。 | |
| 5.研究の実施体制 | あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。<br>試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。 | | |
| | (1)当施設の研究責任者または研究代表者 | 研究機関名 | 東京慈恵会医科大学　放射線医学講座 |
| | | 氏名 | 福田大記 |
| | (2)当施設の長 | 東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥 | |
| | (3)当施設の試料・情報の管理責任者 | (1)の研究責任者と同じ | |
| | (4)共同で研究を実施する施設とその責任者 | 関西労災病院 放射線科 上甲剛（機関の長：林紀夫）<br>公立陶生病院　呼吸器・アレルギー疾患内科　木村智樹（機関の長：福岡 宗良）<br>九州大学病院　病理診断科・病理部　橋迫美貴子(機関の長：石橋達朗)<br>関西医科大学　病理学講座　石田佳央理（機関の長：木梨達雄） | |

| | |
|---|---|
| 6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて | この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。<br>提供方法：CT 画像と病理所見の結果および呼吸器内科の専門医、肺専門の放射線科医、肺専門の病理医の 3 者が話し合った上で診断を行う multidisciplinary discussion (MDD)の診断名を含めた患者情報をパスワードのある USB メモリーに入れ、東京慈恵会医科大学附属病院放射線科と関西労災病院放射線科の医局内の鍵のついた保管庫で厳重に保管します。デジタル病理組織像もパスワードのある USB メモリーに入れ、九州大学病院　病理診断科・病理部と関西医科大学病理学講座の医局内の鍵のついた保管庫で厳重に保管します。<br>試料・情報の利用または提供予定開始日：2023 年 11 月頃～ |
| **【問い合わせ先】** | 機関名：東京慈恵会医科大学　放射線医学講座<br>研究責任者と連絡窓口：助教　福田　大記（ふくだ　たいき）<br>電話番号：03-3433-1111（内線 3361）<br>対応時間：平日 9:00～17:00 |

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。